

監査の四季

第10回
 鯖江市代表監査委員
 川中清司

広がるみんなの生涯学習

マリンバのトルコ行進曲が流れ、若者の笑い声がどよめく。成人式の参加者は8割を超え、公民館では小売時代の恩師を囲んでの明るい語り合いに花が咲きました。

各公民館では毎週土曜日を開放し、地域の「達人」が子供たちに、ワラジや竹馬づくりを教え、田畑の野良仕事で自然体験させたりしています。

有名人の「課外授業」が開かれ、久里洋二さんがアニメ製作を、西山



成人式に集う若者たち

松生さんが絵画を子どもたちに手ほどきしました。

豊小学校の児童が、青年の家で4泊5日の合宿通学を体験し、地元の人たちの昔話や、手作りの望遠鏡で野鳥や天体観測などをして過ごしました。

尾花町のキャンプ場に市内の中学生が集まり、福大生や中学の先生をリーダーとして、知らない同士が一緒に寝泊まりして野外活動を楽しみました。子どもたちは、「自然のすばらしさ、仲間の尊さを知った」と感動しています。

子どもの教育は、学校と家庭や地域も一つになって取り組む。その中で大人自身も学習できます。

公民館のクラブサークルが育っています。お茶お花、料理、ソロバン、習字、ダンス、英会話など200種類、パソコン講習会も年間約300回、参加者は全体で24万8千人を超えました。ちなみに市の公民館費は2億9200万円です。

みんなが主役でボランティア。生涯を楽しく学び、健康と生き甲斐につなぐ。これが活動の基本です。